

# DNA Methylation Pathway

## 血中メチレーションプロファイルテスト: 一般用 検体作成手順

始める前に

### 1. 検査キットの内容を確認:

#### ● キット箱の中に:

血液塗布カード(PerkinElmer 226 Spot Saver Card) ..... 1枚  
乾燥剤とジップロックバック ..... それぞれ1つ  
血中メチレーションプロファイルテスト: 一般用申込書 ..... 1枚  
Doctor's Data 社 Informed Consent for Molecular genetic Testing 用紙 ..... 1枚  
検体作成手順(本用紙) ..... 1部  
Informed Consent for Molecular Genetic Testing 用紙の書き方 ..... 1部  
二つ折りの白封筒 ..... 1枚  
(ランセットは同梱ではございません、ご了承下さい。)

#### ● キット箱と別に:

検体発送用 EMS 封筒 ..... 1枚  
検体発送用 EMS 送り状 ..... 1枚  
検体発送用 Commercial Invoice 及び Sample Producer/Shipper Declaration ... 1部  
(こちらは検体と共に封筒には同梱頂かず、検体発送時に日本郵便に1部(3枚)提出頂くものとなります。検体発送時 Commercial Invoice には一番下の Date 欄に発送日の日付、Sample Producer/Shipper Declaration には担当医の署名と発送日の日付の記入が必要です。)

キットの中身が不足している場合はデトックスまでご連絡下さい。

株式会社デトックス (Detox Co., Ltd.), Tel: 03-5876-4511, Fax: 03-3222-5770, Email: askkensa@detox.jp

### 2. 本用紙をご覧の上、検体作成手順をご理解下さい。

このテストでは特別な食事療法を必要としません。抗凝血薬を服用している方、血液凝固障害を持っている方は、医師と相談してください。医者に相談することなく処方薬を中止しないで下さい。

ランセットと血液塗布カードは一度きりの使用です。組織の深さが不足しているため、小指から、または1年未満の小児に採血してはいけません。一度乾燥させた血液の上に、重ねて塗布しないで下さい。傷口を強く押したり、無理やり血液を出したりするようなことは避けて下さい。そうすると、検体の組織液が混成を引き起こす可能性があります。

### 3. 書類を作成します。

被験者氏名(英語表記)、被験者生年月日(DOB)、検体採取日(Collect)を血液塗布カードに記入下さい(日付の書き方~例:1998年05月26日→26/05/1998)。また2枚の検査申込用紙(血中メチレーションプロファイルテスト:一般用申込書、Doctor's Data 社 Informed Consent for Molecular genetic Testing 用紙)に必要事項を記入、ご署名下さい。検査申込に際しては、血液塗布カードと検査申込用紙に被験者の情報を適切に記入して下さい。そうでない場合には検査を行うことができません。

## 検体作成手順

(以下の手順は検査ラボによるランセットを用いる内容でのものとなります。ランセットを使用しての検体作成においては血液塗布カード中の 5 つの円への血液の塗布が困難な場合もございます。そのような場合はクリニック様での採血時の血液を用いるなどして頂き検体作成を実施頂きますよう、お願いいたします。)

1. 数分間、お湯で手を洗って下さい。乾かした手をアルコールティッシュで消毒し、中指と薬指の周りを滅菌ガーゼで乾かしきれいにします(アルコールティッシュ及び滅菌ガーゼは同梱ではございません、ご了承下さい)。
2. ランセットのキャップを外します。カチッと音がするまで、薬指あるいは中指にしっかりランセットを押します。最初に出てくる血液を滅菌ガーゼで拭き取ってください。血流を増加させるために手を下げます。血液滴を形成するために、優しく指全体をマッサージします(ランセットは同梱ではございません、ご了承下さい)。
3. 血液塗布カードを開き、血液採取の円を上にして折り返して下さい。カード上の円の中心に血液滴を塗布します。**一度乾燥させた血液の上に、重ねて塗布しないで下さい。**血液はカードの両面の少なくとも 75%を満たして下さい。円はキット箱底面の Acceptable Collection Card Example に示されているようになるはず です。
4. 全ての円が血液で満たされるまで、この手順を繰り返します。十分な血液を得ることができない場合は、別の指を二つ目のランセットを使用し、手順 1 から繰り返します。
5. 採血後、傷口の出血が止まるまで優しく穿刺部位にガーゼパッドをあて、必要であれば絆創膏を貼ります(ガーゼパッド及び絆創膏は同梱ではございません、ご了承下さい)。
6. 血液スポットは、少なくとも 3 時間両面を乾燥できるように、カードを曲げます(キット箱内底面の写真 6 番参照)。乾燥中は、直射日光、湿気、および熱源から遠ざけて下さい。カードの血液が完全に乾燥する前に梱包された場合は、検体を検査で使用できなくなる可能性があります。
7. 血液を乾燥させた後、折込部分の蓋を閉じます(Insert Flap Here とある下に入れ込みます)。血液塗布カードと乾燥剤をジップロックバックに入れて閉じます。申込書、Informed Consent for Molecular genetic Testing 用紙とジップロックバックを二つ折りの白封筒に入れ、それを検体発送用 EMS 封筒に入れます。
8. 郵便局より EMS にて発送します。送付状を貼り付けた検体入りの封筒と Commercial Invoice 2 枚と Sample Declaration のセットを郵便局にお持ち頂くか、集荷を依頼されてください。Commercial Invoice には Date 欄に発送日をご記入下さい(英語表記)。

最良の結果を得るために、検査会社はできるだけ早く検体を郵送するように推奨します。

## 検体作成・発送にあたって

### 避ける事

- 一度乾燥させた血液の上に、重ねて塗布する
- カードに血液をこすり付ける
- カードの塗布された血液の表面を指で触ること

### 確認する事

- 血液はカードの両面の少なくとも 75%を満たして下さい
- 申込書が適切に記入され署名がなされているか
- カードが乾燥剤と一緒にジップロックバックに入っているか